

MINI COOPER ORIGINAL style

'94 ローバー ミニ クーパー

目指したのはオンリーワンの存在感!

photo = 雪岡直樹 naoki yukioka text = 清原直樹 naoki kiyohara

Special thanks = インベリアルクラブ大阪 tel.072-720-6780

http://www.imperials.jp



1300ccインジェクションエンジンをキャブレター化。キャブレターはOERだ。そのほか軽量フライホイール、スポーツカム等の変更も行われている。



Custom point

ボンネット:スリット入りFRPボンネット

サイドスリット:TYプランナー

足まわり:ビルシュタイン+コイル

ホイール:RS7タナベ

メーターパネル:ワンオフFRPカーボン

シート:コブラ製フルバケット

ロールオーバー:サイトウロールオーバー6点留め

etc

01. ワンオフで製作されたカーボンメーターパネル。レーシーにカッコよくキマっている。

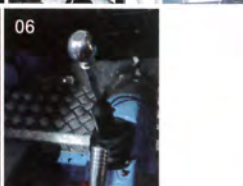
02. レーシングカー風にメーターパネル上にスターボタンとキルスイッチを設置。

03. 両座ともコブラのフルバケを装着。

04. サイトウロールオーバーの6点留めもレーシングマインドを盛り上げる。

05. インテリアをレーシーな雰囲気ですべて統一したならば、足元はやはりリアルミプレートでキメたい。

06. KADのシフトノブ。ちょっとしたアクセリにもこだわりを感じるのだ。



自分だけのこだわりを詰め込んで、自由に遊んでみたい。

このミニを見ていると、オーナーのそんな声が聞こえてくる気がする。

オーナーの真優さんは、ドイツ製スポーツカーを複数台所有するクルマ好きだが、ミニの走りはほかのどのクルマとも違う楽しさがあるという。

そのお気に入りのミニを、オンリーワンのミニにするべくモディファイを施したのがこのクルマだ。

外観でこだわったのはボンネットとサイドのスリットだ。

レーシーなディテールを再現するために、ボンネットはFRP製に交換され加工が施されている。

内装もワンオフで製作したFRPメーターパネルにカーボンを貼り付けてあり、ブラックのフルバケ、6点留めのサイトウロールオーバーと相まって“その気にさせる”雰囲気満点の仕上がりがりだ。

走りの方もバージョンアップさせるべく、軽量フライホイールとスポーツカムを組み込んで、インジェクションをキャブレター化。

キャブレターは純国産のOERをチョイス。

足まわりのセッティングも見直して、研ぎ澄まされた走りとなったミニを駆り、今日も神戸の街を走る真優さんなのだ。



バケットシートに腰を降ろせば、視界に広がるのはブラックで統一された室内。日常から開放されるオーナーお気に入りの風景なのだ。ステアリングはモリタのレアー巻きだ。



Owner:

真優さん

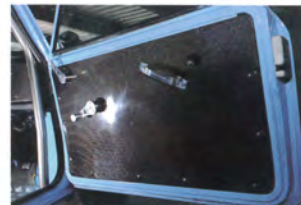
ドイツ製スポーツカーを複数台所有している真優さんが、ホームタウンの神戸近辺を移動するときにはミニを使うのだとか。ちなみにミニのカラーは、神戸の空の色を再現したものだという。



サイドスリットは「TYプランナー」の製品。足はビルシュタイン+コイル、ホイールはRS7タナベだ。



FRPボンネットにはマッチョなスリットが入る。もちろん放熱効果も期待できるのだ。



ドアの内張りもメーターパネルにあわせてカーボンで張り替えられている。



フロントにはKAD製のスタビライザーを装着。